

平成 29 年度 第 1 回燕市社会教育委員の会議 会議録（要旨）

1 日時 平成 29 年 7 月 4 日（火） 午後 1 時 30 分～3 時 00 分

2 開催場所 燕市中央公民館 3 階 小ホール

3 出席者名

澁木保之委員、松井淳委員、神保一江委員、宗村喜代子委員、細野美恵子委員、
加藤一夫委員、高桑紀美江委員、相場文子委員、伊皆桂子委員、寺澤清仁委員、
田村芳子委員

4 欠席者

相田美恵子委員、平田良子委員

5 説明のため出席した職員

教育長 仲野孝、教育次長 山田公一
社会教育課長 宮路一規、課長補佐 赤塚忠男
生涯学習推進係長 本間聖規、主任 浅野晴也

6 傍聴人 なし

7 報道機関 なし

8 会議に付議した事件

報告事項

報告

- (1) 平成 28 年度燕市社会教育委員の活動報告について
- (2) 平成 28 年度燕市生涯学習人材バンク実施報告について
- (3) 平成 29 年度中越地区社会教育委員連絡協議会 第 1 回代議員会 報告書について
- (4) 平成 29 年度燕市社会教育委員活動計画について
- (5) 燕市社会教育施設使用料見直し検討委員会の検討経過について
- (6) 新潟市及び燕市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について
- (7) 社会教育関係団体と連携した家庭教育の推進について
（らんらんランチ会 ～食育活動から展開する家庭教育講座～）

協議

- (1) 平成 29 年度社会教育関係団体への補助金交付について
- (2) 平成 29 年度第 17 回新潟県社会教育研究大会阿賀野大会における市町村交流スペースの希望について

9 会議録

報告

(1) 平成 28 年度燕市社会教育委員の活動報告について……資料 1-1、1-2

《事務局説明》

○委員

平成 28 年度に全国社会教育委員連合表彰者として表彰式に出席したが、それは活動実績に入らないのか。

○事務局

抜け落ちていた。訂正してお詫びさせていただく。

(2) 平成 28 年度燕市生涯学習人材バンク実施報告について……資料 2-1、2-2、2-3

《事務局説明》

○委員

資料 2-3 の裏面のメニューで「原子力・放射線講和」「戦争講和」「宗教講和」とあるが、それぞれ「講和」ではなく、「講話」である。

(3) 平成 29 年度中越地区社会教育委員連絡協議会 第 1 回代議員会 報告書について……資料 3-1、3-2、3-3、3-4

《事務局説明》

○委員

資料 3-4 のスライド 18 ページ目でコミュニティ・スクールの 3 つの機能として、「教職員の任用に関して、教育委員会に意見を出すことができること」とあるが、どういう意味か。

○事務局

特色のある教育を行いたい場合、学校がコミュニティー・スクールとして、その教育を行うために必要な能力などをもった教員が必要なときは教育委員会に意見を言えるということである。

(4) 平成 29 年度燕市社会教育委員活動計画について

《事務局説明》

(委員からの質問なし)

(5) 燕市社会教育施設使用料見直し検討委員会の検討経過について

《事務局説明》

○委員

「燕市の社会教育」35 ページでは細野委員は「行政改革の識見を有する者」となっている。これに対し、資料 5 では「社会教育施設利用者」となっている。どちらが正しいのか。

○事務局

この社会教育施設使用料見直し検討委員会設置当時、細野委員は燕市行政改革推進委員会の委員であったが、平成 29 年度に任期を終えている。資料 5 はこれを踏まえて細野委員を社会教育施設利用者に訂正させていただいたもの。資料 5 が正しい表記となる。

○委員

公民館の使用料は現在減免で無料になっているため、広く生涯学習活動を推進することに繋がっており、多くの方々が利用している。受益者負担という考え方も分かるが、慎重に議論していただきたい。

○事務局

委員おっしゃるように、現在無料になっていることで生涯学習活動を広く推進することに繋がっており、使用料の値上げは活動を阻害することにも繋がりがねない。しかし、一方で利用する方の費用を税金という形で利用しない方も負担しているということもあるので、これらを含めて検討していきたい。

○委員（当該事業関係者）

社会教育施設使用料見直し検討委員会では、今ほど事務局が答えた受益者負担の観点からの見直しのほか、合併前の旧 3 市町の使用料をそのまま現在まで引き継いでいることによる料金格差の不公平感の是正という観点でも見直しを行っている。

○委員

社会教育関係団体の減免についてはどう考えているのか。

○事務局

減免も含めて使用料の検討委員会で協議していく。

○委員

改定した使用料はいつから適用させるのか。

○事務局

未定です。

(6) 新潟市及び燕市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について

《事務局説明》

(委員からの質問なし)

(7) 社会教育関係団体と連携した家庭教育の推進について

(らんらんランチ会 ～食育活動から展開する家庭教育講座～)

《事務局説明》

○委員

らんらんランチ会参加費について。8 月は小学生も、ということでよいのですが、10 月以降は乳幼児親子で 800 円と高いのではないか。

○委員（当該事業関係者）

材料費としていただくが、もし余ればお返しする。

○委員

10月以降の対象が乳幼児親子となると、おんぶして行うのか。乳幼児の調理室（利用）は危ないのでは。保育室を設けてはどうか。

○委員（当該事業関係者）

おんぶして参加でもよいこととしている。単に子どもを預けて親だけが料理をする会にはしたくない。調理室で一緒に調理をしながら子どもを見るのは大変だが、そのためにも多くのボランティアにご協力いただきたい。

協議

(1) 平成 29 年度社会教育関係団体への補助金交付について

○委員

資料 8 の目的と個別の申請書に記載されている目的が一致しないのはなぜか。

○事務局

個別の申請書の目的は、申請者が補助金の申請に際し記載したものである。一方、資料 8 の目的は、社会教育関係団体の申請書類やその添付資料である団体規約等から引用したものであるため、若干表現に違いがある。今後、補助金の目的を記載する。

○委員

事前配布されていた「燕市の社会教育」冊子の地区公民館事業と、文化協会の「平成 28 年度事業報告」を見比べると、文化部では『吉田地区文化展』、芸能部で分水支部では『芸能祭』など、名称がだぶっているが同じ事業か。同じ事業であればなぜ両方に載っているのか。

○事務局

吉田地区文化展と芸能祭は、文化協会と地区公民館との共催事業ということである。

○委員

補助金を出しているが、どのような支出となっているか。公民館側の支出ではどうなのか。

○事務局

手持ちの資料がなく、金額については回答できないが、例を挙げれば芸能祭の舞台照明音響の業務委託料がある。これは 10～20 万円程度の支出となるが、1 団体では負担できない部分の請求を文化協会、地区公民館で分けている。2 者の負担割合は例年のとおりである。

○委員

文化協会の平成 28 年度決算書で会議費の決算額が 199,887 円となっているが、何にこれだけの経費がかかっているのか。平成 28 年度総会は分水福社会館でおこなっており、摘要欄に総会会場費と記載されているが、分水福社会館は会場費等がかからないのではないか。

○事務局

総会は分水福社会館で開催しており、会場使用料は無料となっている。総会の資料の印

刷代等の負担として支出している。

○委員

決算書の会議費の備考欄については会場費がかかっていないのであれば、総会会場費とは記載せずに、総会資料印刷代などと記載したら良いのではないか。

○事務局

今後そのように対応させていただく。

○委員

日本宇宙少年団の補助金内訳にクッキングがあるが、食べる物は補助対象経費外ではないのか。

○事務局

購入したものを直接飲食する場合は、食糧費として補助対象外となる。この場合はクッキングであり、購入したものを調理するための材料として扱われ、原材料費となり、補助対象経費となる。

(2) 平成 29 年度第 17 回新潟県社会教育研究大会阿賀野大会における市町村交流スペースの希望について

○委員

昨年度は会場に行ったら交流スペースのボードのサイズが違っていた。開催会場の事務局によく確認してほしい。

○事務局

委員おっしゃるように平成 27 年度は横長のスペースであったが、平成 28 年度は縦長のスペースであったかと思う。例年、燕市の社会教育委員の方々には横長を想定して資料を作成いただいているので、事務局である阿賀野市へよく確認し、スペースのとり方やサイズについて決まったら連絡させていただきたい。

○委員

交流スペースは単に各市町村の取組みを掲示しているだけで、「交流」はできていない。人が燕市のブースに立って、見に来た方に説明したりと交流できるやり方が良いのではないか。

○事務局

おっしゃるように人が立ち、説明するというやり方でも問題はないと思われる。

5. 意見交換

○委員

先ほどの補助金の話のとおりで、対象経費はいくらで補助額がいくらということが分かる資料にさせていただきたい。

また、私は県や中越の研修に参加してきたが、燕市の社会教育委員が進んでいることが分かる。平成 26 年度には、スマホ調査で社会教育委員が学校に行って調査を行った。

6. その他

○事務局より連絡

- ・燕スマイル・サポート・ステーションについて
- ・「社教情報 No. 77」の購入斡旋について
- ・全国社会教育委員連合からの寄付の案内について
- ・斎藤惇夫氏 講演会 について

午後 3 時 00 分閉会